

オペレッタ「十二支やってこい」で熱演した学生たち



## オペレッタ熱演 園児ら歓声

**ハ 戸** 八戸学院大学短期大学部（杉山幸子学長）は22日、幼児保育学科2年生86人による卒業公演「ミニオペレッ

八学大短大 幼児保育学科卒業公演

タ」を八戸市公会堂で開いた。学生たちは在学中に磨いた感性や表現力を生かし、市内の認定こども園、幼稚園、保育園40園の園児ら約1300人の前で笑いありスリルありの舞台を披露した。

上演したのは「アラジンと魔法のランプ」などオペレッタ3演目と、音楽に合わせた手遊びやダンス5種類。台本や振り付け、衣装などは全て学生たちが手作りした。オペレッタ「十二支やってこい」は、動物たちが十二支になるために神社を目指して競争するストーリーで、12種類の動物と十二支になり損ねたネコが繰り広げるドタバタ劇に、園児たちは大笑いしていた。

認定こども園八戸文化幼稚園の年中児たちは「動物や（アラジンと魔法のランプに登場した）ジャスミンがかわいかった」「ダンスが楽しかった」などと感想を語った。（千葉真由美）